TN51769 🗇

FMRJ102-U/-UW

取扱/施工説明書 発信機

P型1級発信機 FMMJ102-U/-UW

P型1級発信機(R型用)

P型1級発信機(アドレッサブル)FMBJ102-U/-UW

P型2級発信機 FMMJ202-U/-UW



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 この商品は消防法の規格に基づく各種の試験に合格した国家検定品です。

注意で使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- ●この取扱説明書はいつでも使用できるところに保管してください。
- ●この製品は定期的な保守点検を必ず行ってください。

能美防災株式会社

1.本書の表記

1-1.警告表示について

警告表示は、警告文と警告レベルを示す記号の組合せで表示されます。

■ 警告文

危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合 に生じるおそれがある内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。

取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか、防災機能の一部に重大 な悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすお 注意
それがあることを示しています。また、防災機能を長期にわたって有効に活用す る上で、ぜひ守ってほしい事項について示しています。

■ 記号

♠ 警告・注意を促す内容があることを示しています。

禁止内容を示しています。

行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

1-2. 本文中の表記について

自動火災報知設備を施工、保守点検、修理する業者を保守点検契約先、また、 実際に施工、保守点検、修理する人を保守点検者と表記しています。

2. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や 損害を未然に防止するためのものです。ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読

警告 機器が故障したときは、すみやかに保守点検契約先に連絡してください。 Λ 故障を放置すると正常に機能しません。

警告 保守点検者以外は機器内部に手を触れないでください。感電・故障のおそれがあり \bigcirc

注意 機器のまわりに物を置かないでください。緊急時の操作に支障をきたします。 \bigcirc

注意 ジャックカバーは操作後必ず閉じてください。引っかけてケガをする、または機器内 部にゴミや水などが入り、故障の原因となります。

注意 機器は必ず手で操作してください。手以外では確実な操作ができず、機器を破損す るおそれがあります。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。 0

警告 屋外型の機器であっても、直接水をかけないでください。故障の原因となります。 0

注意 受信機の電源を入れた状態で、配線・取り付け・結線をしないでください。故障の原 \bigcirc 因となります。

汚れは、水でうすめた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よく絞ってからふき取って ください。ベンジン、シンナーなどの薬品は引火性があるため危険ですので、使用し

本防災システムは法の定めるところに従って、必ず定期点検を実施してください。こ の定期点検を怠ると火災時に正常に機能しないおそれがあり、その責任を問われ • ることがあります。

3.保守点検について

3-1. 定期点検のきまり

自動火災報知設備は、非常時に正しく動作させるために、定期的な保守点検が必要です。 消防法では、防火対象物の関係者(建物の所有者、管理者、または占有者)に対して、定期 的な保守点検の実施およびその結果を報告するように定めています。

警告 保守点検者以外の人は、受信機や付属設備などの分解や修理をしないでください。 故障の原因となります。

点検等で作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作してください。 不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。

なお、消防法によって定められている自動火災報知設備の定期点検と報告の概要を以下 に示します。

■ 定期点検について

定期点検の種類	定期点検の期間
機器点検	6か月
総合点検	1年

■ 結果報告について

防火対象物の種類	報告期間
特定防火対象物	1年に1回
特定防火対象物以外のもの	3年に1回

3-2.保守点検する会社について

自動火災報知設備の保守点検には、専門的な知識と技術を必要とするため に、消防法では資格制度を設けて、点検有資格者が行うことと定めています。 保守点検契約先と契約を結び、有資格者(甲種消防設備士、乙種消防設備士、 消防設備点検資格者)による保守点検を実施してください。

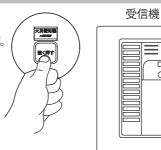
4.取扱方法

4-1. 火災を発見したら

○押ボタンの中央部を押します。

●押ボタンが凹みます。 ●応答灯※が点灯し、受信機 の警報音が鳴動します。

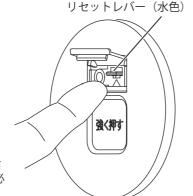
※P型2級発信機の場合、 応答灯はありません。



4-2.火災が鎮火したら

○ジャックカバーをあけ、カバー内 のリセットレバー(水色)を上に 押し上げて、通常の状態にします。

●発信機を通常の状態に 戻した後、受信機の復旧 スイッチを押します。



00

注)受信機の復旧スイッチを押す前 に発信機を通常の状態に戻す必 要があります。

4-3. 点検時に受信機を呼び出すには(P型1級発信機のみ)

- ○ジャックカバーをあけて、電話ジャックに受信機付属の送受話器のプラグ を差し込みます。
 - ●受信機を呼び出し、受信機側が出ると通話できます。

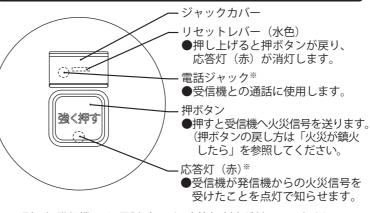
注意 ジャックカバーは操作後必ず閉じてください。引っかけてケガをする、 ⚠ または機器内部にゴミや水などが入り、故障の原因となります。

5. 梱包箱内の付属品など

梱包箱の中には次の付属品が入っています。梱包箱をあけた際には、まず 付属品がそろっているか確認してください。

◆取扱/施工説明書(本書)・・・・・・1枚 ◆防雨パッキン(-UW:屋外型のみ)・・・1個

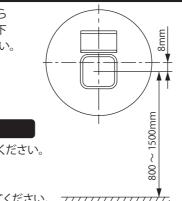
6. 各部の名称とはたらき



※P型2級発信機には、電話ジャック・応答灯(赤)が付いていません。

7.取付位置について

発信機は押しボタンの中心が床から 800mm以上~1500mm以下 の位置となるように設置してください。



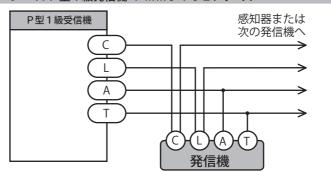
8. 電線について

電線は必ず下記の電線を使用してください。 単線:φ0.5~1.6mm より線: 0.5~2.0 mm

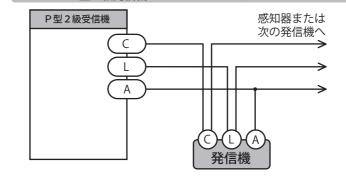
9.接続方法

注意 受信機の電源を入れた状態で、配線・取り付け・結線をしないでくだ \bigcirc さい。故障の原因となります。

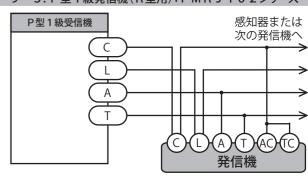
9-1.P型1級発信機:FMMJ102シリーズ

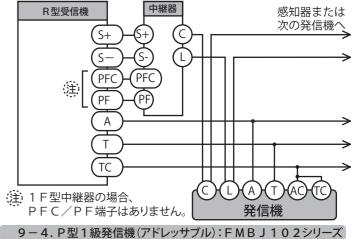


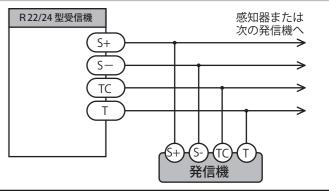
9-2. P型2級発信機: FMMJ202シリーズ



9-3.P型1級発信機(R型用):FMRJ102シリーズ







10.仕様

種別	P型1級発信機		P型2級発信機	
型名	FMMJ102-U	FMMJ102-UW	FMMJ202-U	FMMJ202-UW
構造	埋込型			
国検型式番号	発第26~1号	発第26~2号	発第26~7号	発第26~8号
検定種別	屋内型	屋外型	屋内型	屋外型
定格電圧・電流	DC30V, 500mA			
監視時消費電流	-			
応答灯	赤色発光ダイオード		_	
使用温度範囲	-10~50℃	-20~70℃	-10~50℃	-20~70℃
接続可能受信機	当社製N-18およびS-15 回路以降のP型1級受信機		当社製P型2級受信機	
主材	ポリカーボネート系樹脂(赤色)			
質量	1 3 0 g	137g	1 3 0 g	1 3 7 g

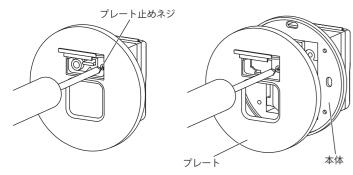
種別	P型1級発信機(R型用)		及発信機(R型用) P型1級発信機(アドレッサフル)	
型名	FMRJ102-U	FMRJ102-UW	FMBJ102-U	FMBJ102-UW
構造	埋込型			
国検型式番号	発第26~3号	発第26~4号	発第26~5号	発第26~6号
検定種別	屋内型	屋外型	屋内型	屋外型
定格電圧・電流	DC30V, 500mA DC24V, 200mA		200mA	
監視時消費電流	_		— 約0.25mA	
応答灯	赤色発光ダイオード			
使用温度範囲	-10~50℃	-20~70℃	-10~50℃	-20~70℃
接続可能受信機	当社製N-11およびS-11回路 当: 以降のP型1級受信機、R型受信機 R			
主材	ポリカーボネー		卜系樹脂(赤色)	
質量	1 4 5 g	152g	1 3 5 g	1 4 2 g

1 1.取り付け方法について

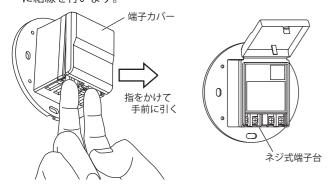
11-1.発信機の取り付け

発信機の取り付けは、壁面・埋込式です。

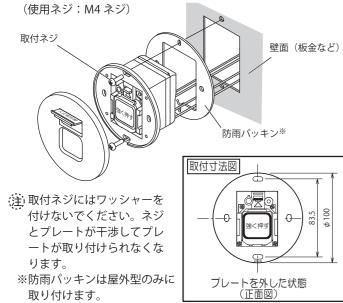
(1) ジャックカバーを開け、プレート止めネジ(1ヶ所)を ゆるめてプレートを取り外します。



(2) 本体裏面の端子カバーを開け、下側にあるネジ式端子台 に結線を行います。



(3)壁面(板金など)に取付ネジ(2ヶ所)にて本体を固定します。



- (4) プレート止めネジをしめて、プレートを本体に固定します。
- 注埋込ボックスへの取り付けはできません。 埋込ボックスへ取り付ける場合は、アダプタプレート(別売り) を用いて取り付けてください。
- (5) ジャックカバーを閉めます。

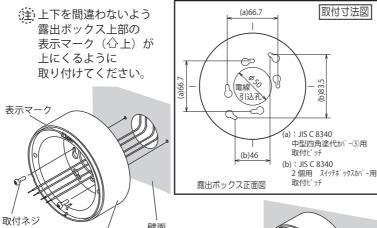
11-2. 露出ボックス(別売)と発信機の取り付け

別売りの露出ボックス(ZBMJ002-R型)と発信機を組み合わせることで、 発信機を壁面・露出型として取り付けることができます。

■滴合ボックフ■

過日小グンス■			
ボックス	ボックスカバー	取付ピッチ	
中型四角アウトレットボックス	塗代カバー⑤(丸孔)	66.7×66.7	
大型四角アウトレットボックス	大型四角2コ用スイッチカバー	83.5×46	
2 コ用スイッチボックス (カバー付)	_	03.3 \ 40	

- (1)壁面に孔をあけます。(取付寸法図参照)
 - (2) ボックス中央の電線引込孔から配線を引き出し、ボックスを取付 ネジで壁面に固定します。



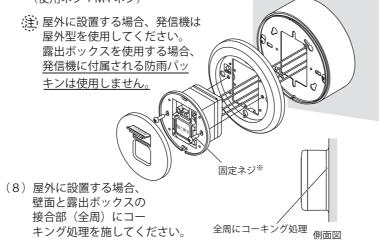
(3) 互換プレート中央の電線引込 孔から配線を引き出します。

露出ボックス

- (4) 互換プレートとボックス を固定ネジで固定します。 (使用ネジ: M4 ネジ)
- (5) 化粧プレート中央の電線引込 孔から配線を引き出します。
- (6) 発信機の結線を行います。
- 化粧プレ-万換プレート

※固定ネジは出荷時に露出 ボックスに取り付けてあ ります。

(7) 互換プレートに化粧プレートと発信機を固定ネジで固定します。 (使用ネジ: M4 ネジ)



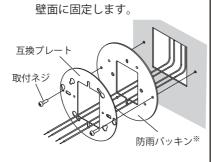
キング処理を施してください。 11-3.アダプタプレート(別売)と発信機の取り付け

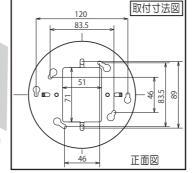
別売りのアダプタプレート(ZBMJ002-U/-UW型)と発信機を組み合わせる ことで、発信機の外径がφ140になります。取り付けは、壁面・埋込式です。 アダプタプレートは、互換プレートと化粧プレートで構成されています。

■適合ボックス■

ボックス	ボックスカバー	取付ピッチ
大型四角アウトレットボックス	大型四角2コ用スイッチ カバー	83.5×46
2コ用スイッチボックス(カバー付)		

- (1) 互換プレート中央の孔に配線を引き出します。
- (2) 互換プレートを取付ネジで 壁面に固定します。

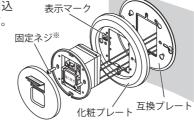




※防雨パッキンは屋外型のアダプタプレート(-UW型)に付属しており、 屋外型のみに取り付けます。

(2) 化粧プレート中央の電線引込 孔から配線を引き出します。

(3) 発信機の結線を行います。



リング型表示灯

- (4) 互換プレートに化粧プレートと発信機を固定します。
- (注)上下を間違わないよう露出ボックス上部の表示マーク(公上) が上にくるように取り付けてください。
- (注)屋外に設置する場合、アダプタプレートは屋外型(-UW型)を 使用してください。また、発信機は屋外型を使用してください。 アダプタプレートを使用する場合、発信機に付属される防雨パッ キンは使用しません。

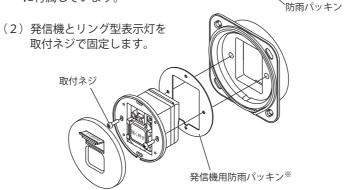
※固定ネジは出荷時にアダプタプレートに取り付けてあります。

11-4.リング型表示灯(別売)と発信機の取り付け

別売りのリング型表示灯(FLPJ004/-W型)を設置する場合、発信機を リング型表示灯に取り付けます。リング型表示灯は、壁面・埋込式です。

(1)屋外に設置する場合、 リング型表示灯の防雨 パッキンを図の位置に 貼り付けます。

※防雨パッキンは屋外型の リング型表示灯(-W型) に付属しています。

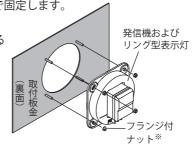


※屋外に設置する場合、リング型表示灯と発信機の間に、屋外 型発信機に付属される発信機用防雨パッキンをはさみ込んで 設置してください。

(3) 発信機を取り付けたリング型表示灯を取付板金に裏面から取り付け、 フランジ付ナット(4ヶ所)で固定します。

●取付板金にあるスタッドを リング型表示灯の四隅にある 取付孔に差し込みます。

●フランジ付ナット(4ヶ所) で固定します。



※フランジ付ナットはリング型表示灯に付属しています。

- (4) 発信機およびリング型表示灯の結線を行います。
- (注) 屋外に設置する場合、リング型表示灯および発信機は屋外型を 使用してください。

12.プロテクタ(別売)の取り付けについて

■ノロナグダ週台機種■			
種別	型名	プロテクタ型名	
発信機	FMMJ102-U/-UW FMMJ202-U/-UW FMRJ102-U/-UW FMBJ102-U/-UW	FZPJ007	
薄型表示灯	FLPJ002/-W		
露出ボックス付発信機	ZBMJ002-R+発信機	FZP013-H	
アダプタプレート付発信機	ZBMJ002-U/-UW+発信機	FZP013-L	
リング型表示灯付発信機	FLPJ004/-W+発信機	適用製品なし	

12-1.FZPJ007型プロテクタの取り付け

【屋内設置の場合】

(1) プロテクタ固定ネジをゆるめて保護網を取り外します。

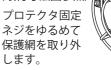


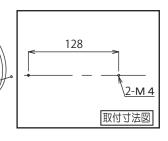
(2) ベースプレートを発信機と壁面の間にはさみ、発信機と共締めします。

(3) プロテクタ固定ネジをしめて、ベースプレートに保護網を固定します。

【屋外設置の場合】

(1)壁面に孔を2ヶ所 あけます。 (取付寸法図参照) (2) プロテクタ固定





 ϕ 206

120°

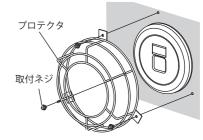
取付寸法図

120°

- 注バースプレートは使用しません。
- (3) プロテクタ固定ネジをしめて、壁面に保護網を取り付けます。

1 2 - 2. FZP013-L/-H型プロテクタの取り付け

(1)壁面に孔を3ヶ所あけます。(取付寸法図参照)

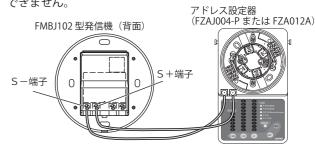


(2) プロテクタを取り付けます。 (使用ネジ:M4ネジ)

13.アドレス設定について(FMBJ102型のみ)

FMBJ102 型発信機はアドレッサブル発信機です。アドレス設定器を 本体裏面にある端子カバー内のネジ端子に接続してアドレスを設定し、 受信機との整合性を取ってください。(信号線 (S+,S-) は有極性です。) 1~255 までのアドレスを設定できます。

- ●他機器とアドレスが重複しないようにしてください。
- ●アドレス設定はバラ線を使用して発信機とアドレス設定器を 1対1で接続してから行ってください。
- ●発信機を他機器と接続したままでは、正しくアドレス設定が できません。



✓□HMI 能美防災株式会社

社/〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL(03)3265-0211 杜/北海道(011)746-6911 東 北(022)221-2695 新 潟(025)243-8121 茨 城(029)225-2600 干 葉(043)266-0303 北関東(048)642-0147 西関東(042)643-1520 横 浜(045)682-4700 静 岡(054)247-3211 中 部(052)915-2411 長 野(026)227-552 金 沢(076)252-6211 岡 山(086)244-4222 阪(06)6330-8661 州(092)712-1560 国(082)510-1125 京 都(075)694-1192 青 森(017)729-0532 堂 業 所/旭 川(0166)35-7824 感 岡(019)645-0552 秋 田(018)862-5086 羽 田(03)5757-9393 五反田(03)3779-9737 郡 山(024)947-1194 島(024)528-4195 谷(03)3461-1051 杉 並(03)3306-0451 城 東(03)3626-2461 土 浦(029)822-385 宇都宮(028)637-4317 馬(027)328-1567 埼玉西(049)247-4640 崎(044)233-5773 福 井(0776)21-0056 神 戸(078)334-3581 四 国(087)868-6811 北九州(093)583-3344

長 崎(095)845-0135 熊 本(096)360-1051

大 分(097)543-2778 宮 崎(0985)28-8792 鹿児島(099)253-8196 沖 縄(098)862-4297 場/三 鷹(0422)44-5141 メヌマ(048)588-1531